

# セミナーのお知らせ

## The mitoRQC pathway

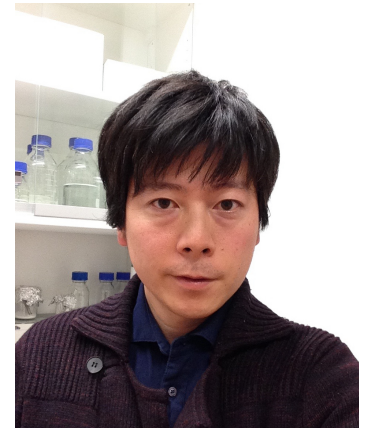
### -新生ミトコンドリアタンパク質の品質管理機構-

講師：井澤俊明 博士

【University of Munich,  
Biomedical Center 博士研究員】

日時：2017年12月21日（木）  
18:00~19:00

場所：薬学部A館2階 第1会議室



ミトコンドリアは生命活動に必須のオルガネラである。ミトコンドリアタンパク質のほとんどはサイトゾルのリボソームで合成され、ミトコンドリアへと輸送される。異常タンパク質のミトコンドリアへの蓄積はミトコンドリア機能の破綻を引き起こし、神経変性疾患など様々な疾患とも密接に関わっている。正常な細胞においては、異常なミトコンドリアタンパク質はミトコンドリア内で分解されるか、あるいはミトコンドリアへ輸送される前にサイトゾルの品質管理機構によって適切に処理される。本講演では、最近我々が同定した、リボソームの異常停止により生じた異常なミトコンドリアタンパク質を処理する新規の品質管理機構について紹介したい。

---

Izawa T, Park SH, Zhao L, Hartl FU, Neupert W. Cytosolic Protein Vms1 Links Ribosome Quality Control to Mitochondrial and Cellular Homeostasis. *Cell* pii: S0092-8674(17)31186-8.(2017)

Izawa T, Tsuboi T, Kuroha K, Inada T, Nishikawa S, Endo T. Roles of dom34:hbs1 in nonstop protein clearance from translocators for normal organelle protein influx. *Cell Rep.* 2(3):447-53. (2012)

連絡先: 稲田利文(遺伝子薬学分野)

TEL:022-795-6874 E-mail:[tinada@m.tohoku.ac.jp](mailto:tinada@m.tohoku.ac.jp)